

日本物理学会 領域2 役員会 議事録案

日 時：2025 年 9 月 16 日（火）17:30~18:30

会 場：広島大学 経済学部講義棟 B159 教室

参加者（敬省略）：比村（司会）、江尻、長崎、菊池、松山、三瓶、安部、大石、佐々木、
金、川面、辻井

議事録：安部

報告・議論事項

- 1) 2025 年 10 月からの役員体制・役割分担
- 2) 代議員候補者の推薦（第 82~第 83 期）
- 3) 春季大会の学生賞受賞者
- 4) 若手奨励賞候補者
- 5) 領域HP の日英併記
- 6) 2026 年オンライン春季大会でのシンポジウム等の提案
- 7) 領域2 講演数の推移
- 8) 領域のあり方と現状の課題
- 9) 第 7 回米沢富美子記念賞
- 10) 第 1 回かどで賞
- 11) 80 周年記念国際シンポジウム開催のお知らせ
- 12) その他

議事内容

- 1) 2025 年 10 月以降の役員体制，役割分担
【役員体制（2025.10~2026.09）】
領域代表：比村治彦（京都工繊大）
領域副代表：江尻晶（東京大）
領域前代表：長崎百伸（京都大）
役員：徳澤季彦（核融合研），松山顕之（京都大），安部勇輝（大阪大）
運営委員：岩田夏弥（大阪大），大石鉄太郎（東北大），川面洋平（宇都宮大），
辻井直人（東京大），金史良（京都大），古賀麻由子（兵庫県大）
（2026 年 4 月からの代表・副代表）
領域代表：江尻晶（東京大），
領域副代表：藤岡慎介（大阪大）

【役割分担 (2025.10~2026.09)】

プログラム編集 : 大石 (正), 川面 (服), 安部, 金, 松山
連絡責任者 : 川面
招待・企画講演, シンポジウム : 岩田 (正), 大石 (副), 古賀, 安部
企画セッション : 川面, 金
3学会合同世話人 : 川面 (正), 辻井, 安部 ※過去の名残で現状特に動きなし
ビーム物理との合同 : 川面 (正), 辻井, 安部
表彰・若手賞 : 江尻 (副代表), 徳澤 (共同世話人)
※HP掲載作業があるため, NIFS 所属者が担当
学生賞 : 比村・江尻
学生賞担当 : 松山 (正), 川面, 辻井
会計, 予算 : 比村
学会連携 : 長崎, 比村, 徳澤, 川面, 辻井
広報 (HP 管理) : 徳澤
ML 管理 : 徳澤
学会誌編集 : 江尻 (副代表) ※現状アクティビティ無し
役員会・運営委員会幹事 (書記) : 川面 (正), 松山
NIFS 共同研究所内世話人 : 今年度から課題申請していないので削除

【確認事項】

- 領域 Web ページ. メーリングリストは NIFS のサーバーで管理しているため, 徳澤委員の後任は NIFS 所属の方に依頼する.
- 2026 年 4 月着任の運営委員 3 名の選出依頼が来ている. 明日の運営委員会で立候補者が出ない場合は, 徳澤, 松山, 安部の 3 名がそれぞれ候補者を選定する.

2) 代議員候補者の推薦 (第 82~第 83 期)

代議員の役割は総会と臨時総会に出席し, 議決権を行使 (委任も可).

2 年に 1 度の会長候補者の選出がある. 領域 2 から 4 名の代議員候補の推薦が可能.

代議員は任期 2 年. 2 回まで再任可 (最大 4 年間継続可能).

- 比村 (2 回目), 江尻 (2 回目), 藤岡 (1 回目) の 3 名内定.
- あと 1 名募集中.

3) 春季大会の学生賞受賞者

以下 5 名を受賞者に選出, 領域 2 HP に掲載済み.

竹中 健翔 (京大エネ科)

「大域的ジャイロ運動論シミュレーションによる実配位における微視的不安定のベータ値依存性解析」

酒井 彦那 (九大総理工)

「乱流抑制を目指した乱流信号のリアルタイム制御」

高橋 夢翔 (東北大工)

「トカマク炉におけるシンクロトロン放射を利用したプラズマ電流駆動の解析」

木内 康一 (東大院工)

「相対論的透過機構による高効率イオン加速機構のダイナミクスとプラズマ開口からの放射との系統的關係」

小川 瑛仁 (京都工繊大)

「電子プラズマ渦の合体過程の観測」

4) 若手奨励賞候補者

39歳以下の6名から応募あり.

審査委員会において2名の候補者を選出. 理事会に報告する.

(最終審査は理事会で行うが, 否決された事例はない.)

5) 領域HPの日英併記.

事務局から全領域に対応依頼(日英併記の推奨). 領域2もできるところからやる.

6) 2026年オンライン春季大会でのシンポジウム等の提案

- 10月20日(月)までに役員会へ提案募集
- 招待講演: 応募無し.
- シンポジウム: 応募無し
- 若手奨励賞受賞記念講演(2件予定)
- 代表からの提案「スクーリング・ネットワーキング事業 Fusion Science School との連携」

会合名: 「核融合科学の魅力」市口先生より

日時: 9/18 12:30-13:15 キックオフのきっかけとして企画.

7) 領域2講演数の推移

第80回年次大会(2025年秋)は講演数110件で10年前の半分程度. プラズマ・核融合学会の講演数は580件ほどあるので, もう少し増やしたい.

- NIFS, QSTの参加者が少ないのが問題. 積極的に参加を呼びかけるべき.

- 8) 領域のあり方と現状の課題について
運営委員会で意見を募る。後日メールでも受け付ける。
- 運営に支障があるかどうか (HP, ML の管理など)
 - 領域の組み換え (科研費ではプラズマ科学から炉工学が外された。DC1 応募件数は素核・宇宙で 100 件以上, プラズマは 10 件程度で縮小傾向。こうした状況を考慮して領域再編を検討すべきか。)
 - 領域 2 の課題 (NIFS, QST からの参加者を増やす方法など)
 - その他, 領域制に関する意見
- 9) 第 7 回米沢富美子記念賞
領域 2 から 2 名を上限として受賞候補者を推薦。現在 1 名のキャリアオーバーがあり, あと 1 名推薦できる。
- 10 月 17 日(金)締め切り。
 - 女性会員で最終学位取得後 15 年以内
- 10) 第 1 回かどで賞
受賞候補者を推薦。
- 12 月 12 日 (金) 締め切り
 - キャリア形成期にある若手研究者が対象
 - 学位取得前または学位取得後 6 年以内に公表された第一著者論文を評価
 - 自薦・他薦不問
 - 表彰：原則 1 件。
- 11) 80 周年記念国際シンポジウム開催 (全領域) のお知らせ
- 2026 年 9 月 13 日@東京大学駒場キャンパス
 - 国際的に活躍する研究者 10 名ほどの招待講演を中心に構成
 - 人選・参加登録の詳細は実行委員会で検討中。
 - 第 81 回年次大会でも本シンポジウムと関連したサテライトシンポジウム (国際シンポジウム, 4 件程度) を企画
- ① 形式は大会シンポ有無と同じだが, 国外からの講演者の旅費を学会が一部負担
- 12) その他
特になし